

ECOALF

<ブランド：新商品情報>

報道関係者各位

サステナブルファッションブランド「ECOALF」

再生型農業による「リジェネラティブ・コットン・コレクション」7 型発売**土壌を消費するコットン生産から、再生するものづくりへ****インドの農業コミュニティと連携し、累計 143 ヘクタールの土地再生に貢献、
2026 年春夏は 65.7 ヘクタール超を再生**

三陽商会が展開するヨーロッパ発のサステナブルファッションブランド「ECOALF」(エコアルフ)は、再生型農業によって栽培されたリジェネラティブ・コットンを100%使用した「リジェネラティブ・コットン・コレクション」7型を、全国の「ECOALF」6店舗、及び「ECOALF」ブランド公式サイト&ストア等にて2026年4月22日に販売を開始しました。

本コレクションは、本国スペインの「ECOALF」がインド・グジャラート州の農業コミュニティと連携し、サプライチェーンの起点である土壌から見直す取り組みのもと生まれた製品です。2026年春夏「リジェネラティブ・コットン・コレクション」により、65.7ヘクタール(東京ドーム約14個分)に及ぶ土地再生につなげ、累計では143ヘクタールの土地再生に貢献。ファッション産業が地球環境の再生に貢献できる可能性を示しています。

「ECOALF」は、海洋ごみを回収・再利用するプロジェクト「UPCYCLING THE OCEANS」(アップサイクリング ジ オーシャンズ)を通じて取り組んできた海洋環境の保全に続き、今回の「リジェネラティブ・コットン・プロジェクト」による「土壌」の再生を併行して進めていきます。

日本市場においては、2020年の日本上陸以来、環境問題の啓発に取り組んできたように、今後も「リジェネラティブ・コットン・コレクション」の展開をととして、「ファッションが環境問題の解決策になれる」という価値観の浸透を目指します。



インドの農業コミュニティと連携した土壌再生につながるコットン生産

「リジェネラティブ・コットン・コレクション」

■ 取り組みの背景

コットン生産が抱える構造的課題と、「再生」への転換

世界のコットン産業は、数十年にわたり集約的な単一栽培や化学農薬への依存、水資源の過剰使用といった効率重視の農業を続けてきました。その結果、土壌は本来の力を失い、肥沃だった農地は劣化し、生態系や農業に関わる人々に深刻な影響を及ぼしています。

「低減」から「再生」への発想の転換

「ECOALF」はこれまで、再生素材の研究開発や、海洋ごみを回収・再利用するプロジェクト「UPCYCLING THE OCEANS」を通じて、環境負荷を低減する取り組みを続けてきました。一方で、「低減するだけでは気候変動や資源枯渇のスピードに追いつかない」という問題意識が、ブランド内で強まっていました。

そうした中で注目したのが、自然に逆らうのではなく、自然の循環を回復させるリジェネラティブ(再生型)農業です。「ECOALF」は、「ファッションは環境問題の一因ではなく、解決策になり得る」という考えのもと、サプライチェーンの起点である土壌から再生に取り組む必要があると判断しました。



綿花栽培の様子

リジェネラティブ・コットンへの取り組み始動

スペイン「ECOALF」は2023年より、リジェネラティブ・コットンを用いた製品開発を試験的に開始。2024年、素材とイノベーションに特化した国際見本市で、インド・グジャラート州を拠点とする農業コミュニティと出会い、再生型農業による土地回復を目指す取り組みに共感し本格的な協業に至りました。この協業は、環境へのポジティブな影響を生み出すことへの重要な転換点となっています。

■ 取り組みの概要・目的

【リジェネラティブ・コットン・プロジェクトの概要】

本プロジェクトは、インド有数の綿花生産地であるグジャラート州を中心に展開されています。スペイン「ECOALF」は、再生型農業を実践する農業コミュニティと長期的なパートナーシップを構築。単なる原料の調達にとどまらず、農家の技術支援と経済的安定を重視した関係づくりを基盤としています。当初は少人数の研修を受けた農家グループから始まったこの取り組みは、現在では複数の村にまたがる数千人の農家からなるネットワークへと成長しました。

その中で「ECOALF」は、農業コミュニティとの協力のもと、従来の調達モデルとは異なる支援体制を構築しています：

- ・化学肥料や農薬に依存しない農法への技術的指導の提供
- ・単一栽培から多品種混植(インタークロッピング)への転換支援
- ・再生農業への移行期間中における農家の経済的安定の確保
- ・地域社会と連携した持続可能な農業システムの構築

この協業を通じて、「ECOALF」はすでに累計で143ヘクタールの劣化した土地の再生に貢献。2026年春夏「リジェネラティブ・コットン・コレクション」においては65.7ヘクタール(東京ドーム約14個分)以上の土地再生に寄与しています。



累計で143ヘクタールの劣化した土地の再生に貢献

【本取り組みによって生まれる変化】

再生型農業は単に環境負荷を低減するだけでなく、工業型農業によって失われた生態系を積極的に再構築する取り組みです。土地はより健康になり、気候変動への耐性を高め、長期的に人々の暮らしを支えられるものになります。環境負荷を減らすだけでなく、環境にポジティブな影響を与えることが可能になります。

【本取り組みで目指すこと】

「ECOALF」は、このプロジェクトを通じて、ファッション産業が環境問題の一因ではなく「解決策になれる」ことを実証しようとしています。サプライチェーンの起点である土壌から変革を起こすことで、単に環境負荷を低減するだけでなく、積極的に環境を再生する新しいファッションビジネスのモデルを構築することを目指しています。

■「リジェネラティブ・コットン・コレクション」商品特徴・商品概要

「リジェネラティブ・コットン・コレクション」は、再生型農業によって栽培されたリジェネラティブ・コットンを100%使用したコレクションです。インド・グジャラート州の農業コミュニティと連携し、サプライチェーンの起点である「土壌」から見直すことで、単に環境負荷を減らすだけでなく、劣化した土壌の回復を目指す取り組みから生まれた製品です。

Tシャツなどのカットソーに加え、シャツ、パンツなどの布帛(織物)アイテムを含む計7型を日本で展開します。染色には自然由来の原料を使用し、ブルーやグリーン、ピンクなどの爽やかなカラーを取り揃えています。グリーンでシンプルなデザインを基調とし、素材そのものの風合いや、着用を重ねることで生まれる自然な変化も特徴です。



再生型農業によって栽培されたリジェネラティブ・コットンを100%使用した「リジェネラティブ・コットン・コレクション」

シリーズ名	リジェネラティブ・コットン・コレクション
アイテム	計7型 ウイメンズ：タンクトップ、フレンチスリーブシャツ、パンツ メンズ：長袖シャツ、パンツ ユニセックス：Tシャツ、ショートパンツ
価格帯 (税込価格)	7920円～1万7600円
素材	綿100% (リジェネラティブ・コットン使用)
染色	自然由来原料を用いたナチュラルピグメント (天然顔料)
発売日	2026年4月22日
生産国	インド
販路	「ECOALF」店舗：6店舗 ニューマン高輪、新宿高島屋、阪神梅田本店、大阪高島屋、大丸京都店、札幌三越 他、「ECOALF」POP UP STORE(https://store.sanyo-shokai.co.jp/blogs/pages/ea-24ssshoplist-2024) EC：「ECOALF」ブランド公式サイト&ストア https://store.sanyo-shokai.co.jp/pages/ecoalff

■今後の展望

「海」と「土壌」——2つの再生軸を併行して推進

「ECOALF」は、これまで「UPCYCLING THE OCEANS」を通じて取り組んできた海洋環境の保全に続き、「リジェネラティブ・コットン・プロジェクト」による「土壌」の再生を併行して進めていきます。キーワードとして「リジェネラティブ」を掲げ、2026年秋冬コレクションでは「リジェネラティブ・ウール・コレクション」の展開も予定しています。

日本市場では、6年前の2020年「ECOALF」日本上陸当初より「海洋汚染問題」や「リサイクル」の概念の啓発に取り組んできたように、今後は「リジェネラティブ」という概念を社会に伝え、ファッションが環境問題の一因ではなく「解決策になれる」ことを示し、服を選ぶことが環境再生に参加する行為となる価値観の浸透を目指します。



「海」と「土壌」2つの再生軸を併行して推進

■ブランド「ECOALF」について

地球環境を守るために服をつくる「ECOALF」

「ECOALF」は、創業者ハビエル・ゴジナーチェが自身の子どもが生まれたことを機に次の世代に残すべき世界について考え、2009年にスペインで立ち上げられたサステナブルファッションブランドです。“Because there is no planet B®”（第2の地球はないのだから）をスローガンに、すべてのアイテムを再生素材や環境負荷の低い天然素材のみで製造し販売しています。ファッション産業が世界で2番目に環境を汚染している産業と言われる中で、ペットボトル、タイヤ、漁網などを独自の技術でリサイクルしてこれまで400種類以上もの生地を開発し新たな製品をつくり出しています。

海洋ゴミを回収し新たな製品に活用するプロジェクト「UPCYCLING THE OCEANS」

また、海洋ゴミを回収し新たな製品に活用するプロジェクト「UPCYCLING THE OCEANS」を推進するなど、“地球環境を守るために服をつくる”という新しい発想のエコサイクル型ファッションブランドで、特に海洋環境の保全に繋がる活動に重きを置いてブランド運営をしています。

「UPCYCLING THE OCEANS」は、スペインECOALF社とECOALF財団が2015年からスペインを拠点にはじめたプロジェクトです。地中海の多くの漁師・漁業組合の方々の協力により、漁業で引き上げられた海洋ゴミからペットボトルを回収・分別・再生し、繊維に変え新たな製品をつくりだしています。2024年には世界74か所以上の港で4000人以上の漁師の方々の協力を得て、2015年から2024年までで累計約1700トンもの海洋ゴミを回収してきました。



「UPCYCLING THE OCEANS」の仕組み

ブランド基本情報

コンセプト： スペイン生まれのサステナブルファッションブランド。

ブランド自らが海のゴミを収集してウェアをつくるなど「地球環境を守るために服をつくる」新しい発想のブランド。

ブランド開始年度

スペイン 2009年ブランド設立（スペイン ECOALF社）

日本 2020年3月より展開（三陽商会）

●「ECOALF」ブランド公式サイト&ストア

<https://store.sanyo-shokai.co.jp/pages/ecoalf>

●SNS

Instagram https://www.instagram.com/ecoalf_japan

X https://twitter.com/ecoalf_japan

Facebook <https://www.facebook.com/ecoalfjapan/>



「ECOALF」イメージビジュアル

以上

<この件に関する消費者からのお問い合わせ先>

株式会社三陽商会 カスタマーサポート：0120-340-460 受付時間：11：00-17：00（平日のみ）

株式会社三陽商会 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 6-14 <https://www.sanyo-shokai.co.jp>